

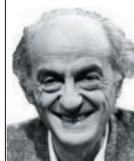


今でも買えるランドルフ作品その1

1961年のデビューから2003年年まで、生涯に104もの作品を出版したランドルフさん。その多くは現在廃番となっていますが、「傑作」「名作」と呼ばれる作品は、ロングセラーとして今なお現役で販売されています。しかも、近年は日本語版も多く発売され、日本でのランドルフ人気を支えています。

今回は、幼児から小学校低学年向けのゲームをご紹介します。

100
years of
Alex
Randolph
1922-2004



最初のゲームにおすすめ 色で進むすごろく



テンポかたつむり 2,860円

3才~/2~6人/10分/ラベンスバーガー社 (ドイツ)

「自分のコマ」がなく、どの色のコマでもゴールさせたら勝ちなので、誰でも勝つチャンスあり。数は使いませんが、サイコロと同じ色のカタツムリを1マス前に進める、という操作を繰り返す

おんぶが楽しいすごろく



すすめコブタクん 5,280円

4才~/2~7人/15~25分/
ドライマギア社 (ドイツ)

同じマスに止まったら、すでにいるコブタの背中に乗り、下のコブタが進むときに、一緒に乗せていってもらえます。「1」が出たら、もう一回プレイできるのもうれしい。



こぶたの
おんぶレース 2,530円

ジーピー社 (日本)

2人ゲームの一番のおすすめ



ガイスター 2,800円

8才~/2人/20分/メビウスゲームズ社 (日本)

年中・年長くらいから遊べます。10分くらいで終わることも多いので、繰り返し遊べます。大人同士も楽しい。

ウソを見破れるかな…?



チャオチャオ...! 2,400円

8才~/2~4人/25~30分/ドライハーゼン(独)、メビウスゲームズ(日)

自分だけこっそりサイコロを見て進みます。ウソをついたり、それを疑ったりして遊ぶゲームです。

家族でゆっくり遊びたい方に



ザーガランド 4,180円

6才~/2~6人/30~45分/ラベンスバーガー社 (ドイツ)

サイコロを振って、森の中を歩き回って、木の下宝物を探します。運・記憶・推理の3要素のバランスが絶妙。

カードゲームの大傑作



ルールが簡単で面白く「ウノ」を超えるカードゲーム。相手が何を考えているかの心理戦。大人にも強くおすすめ。

ハゲタカのえじき 1,500円

7才~/2~6人/15分/メビウスゲームズ社 (日本)



YouTube で遊び方紹介
今回で紹介した5点(「こぶた」を除く)の遊び方を動画でご紹介しています。

ラゾビ7 News



www.studiogiochi.com/alex100

イタリアでもランドルフさん生誕100年特設ページが！ランドルフさんとの縁が深いイタリアの studiogiochi (「ゲームスタジオ」の意) という組織によるものです。全てイタリア語ですが、動画での作品紹介、作品リスト、講演録、写真、過去のビデオなどにアクセスできます。

佐々木 隆行 (ささき たかゆき)

百町森スタッフ。アレックス・ランドルフ研究者。2008年以降、ランドルフさんの功績を忘れないようにと、誕生日と命日にあたるGW期間中に「ランドルフ展」や「ガイスター大会」を開催している。



● ショーウィンドウでミニ・ランドルフ展開催中！ ● ランドルフさんについてのライブ配信を定期的に行っています。次回は、6月18日(土)午後5時の予定です。

